

事務事業名	市役所分庁舎(上下水道部庁舎)整備事業		所属部	上下水道部	所属課	総務課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	総務G	課長名 村重悦子
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	佐藤 充	電話番号 0854-42-3473 (内線) 4642
	目的・対象	A)市民 B)行政機能	意図	公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。		
	基本事業	〈015〉市民に親しまれる行政サービスの提供		予算科目	0:1:1:0:0:7 0:5:3:0:0:8	大事業名 庁舎施設整備事業 中事業名 分庁舎施設整備事業
目的・対象	市民	意図	行政サービスに満足する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市役所分庁舎(上下水道部庁舎)施設	災害時の上下水道の拠点施設としての役割を果たすことができる施設を整備する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H30 年度 ~ R3 年度)	①設計業務(H30年度~R元年度) ②本体工事(R2年度~R3年度) ③付帯工事(R2年度~R3年度) ④用地取得(R元年度) ⑤単独事業(R2年度~R3年度) 総事業費 492,737千円
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 本体工事(建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事)、付帯工事、管理業務及び解体工事。	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 耐震診断等の調査を実施した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 事業進捗率(設計業務)	%	100.0	100.0	100.0	
イ 事業進捗率(用地取得)	%	100.0	100.0	100.0	
ウ 事業進捗率(本体工事)	%	0.0	95.4	100.0	
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
庁舎建設(敷地造成)工事	20,079千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
庁舎建設(建築主体)工事	69,204千円		県支出金	千円				
庁舎建設(機械設備)工事	10,765千円		地方債	千円	33,400	278,800	124,900	
庁舎建設(電気設備)工事	14,201千円		その他	千円		14,752	7,297	
解体撤去工事	13,915千円		一般財源	千円	2,071			
庁舎建設工事監理業務	1,925千円		事業費計	千円	35,471	293,552	132,197	0
備品その他	2,108千円							
起債名:合併特例債								

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	市役所分庁舎(上下水道部庁舎)が完成し、災害時には復旧のための拠点施設として迅速な作業ができるようになった。
② 事業実施するうえでの課題	今後の水道・下水道経営の圧迫、料金・使用料の値上がりにつながらないようにすること。
③ 課題解決に向けた改革改善等	分庁舎建設が市民の新たな負担とならないよう、分庁舎として整備し、合併特例債を利用するなど有利な財源を活用することで市としての負担を軽減させた。